

## かみくげ 恐竜の里新聞

平成22年9月25日

発行：上久下恐竜の里づくり協議会

第26号

上久下  
地域づくり  
センター  
0795 78 0001「まちづくり活動賞」で  
上久下が優秀賞を獲得

平成22年度地域の元氣活動を求める「あしたのまち・くらしづくり活動賞レポート募集」に応募していた上久下自治協議会は兵庫県選考審査会で優秀賞決定されるとともに、中央審査委員会に兵庫県代表として推薦されました。過去2年以上地域づくりに取り組んできた地域活動団体や企業の活動のレポートを募集したもので、恐竜の里、上久下の活動内容とその成果をまとめたものが今回の兵庫県の選考審査会で優秀と認められ表彰を受けることになりました（表彰式は神戸で11月29日の予定）。

全国からのレポートを審査する中央審査委員会の審査結果は来年1月の発表の予定です。

平成19年から続けてきた「恐竜の里づくり活動」も地域の多くの皆さんの協力で少しずつ目に見える形になってきて地域外からも注目されるようになってきています。

今後とも引き続き、上久下が恐竜化石を活かした元気で明るいまちづくりをめざして活動を続けられるよう地域の皆さんの変わらぬご理解、ご支援をよろしくお願いいたします。（里づくり協議会）

地区体育大会  
開かれる

第54回上久下地区体育大会が9月19日残暑きびしい中、小学校グラウンドで盛大に開かれました。例年どおり、午前中は小学校児童の競技や演技が保護者や来賓の声援を受けて日ごろの練習の成果を発揮していました。

今年の大会には丹波市から辻市長も激励に訪れ、地元選出の議員らと見学されていました。



(写真提供：友井麻希さん)

児童の演目のひとつ「表現 おまつり2010」ではハッピー姿の愛らしい1、2、3年生児童が手づくりのみこしをかついで会場を練り歩き、保護者席前では大きな声援を受けていました。

午後の各部落、自治会対抗競技、演技ではそれぞれの代表選手が熱戦を繰り広げ、総合優勝は北太田自治会が僅差で逃げ切り、下滝自治会が順優勝を獲得しました。



(写真提供：中西一郎さん)

プログラムの中で最も目立った演出をした太田自治会の応援披露には精巧に組み立てた「丹波竜」が登場し、長い首を縦に、横に振りながら会場を練り、途中からは子どもたちに回りを取り囲まれながらの行進となり、応援席から喝采の拍手を受けていました。

## おめでとうございませう！

★町ソフトボール大会に  
太田自治会が優勝

山南町ソフトボール大会が8月29日中央グラウンドで開かれました。上久下地区代表で出場した太田自治会が山本自治会を13対2で快勝し、4年ぶりの優勝を果たしました。

## ★上久下愛育会が受賞

上久下愛育班（班長：村岡範子さん）は先輩たちから引き継いで地域の健康づくりを推進する愛育班活動に尽力した功績を讃えられて兵庫県愛育連合会から表彰を受けました。



# 私の上久下生活

ーター・インターン編 ③

齋藤 尚志さん  
文さんご夫妻  
(青田)



齋藤尚志さん(39)と文さんご夫妻は8年前に大阪・豊中から青田に越して来られました。宮崎生まれの九州男児、尚志さんはビールがお好きで、大変おもしろい方、現在西宮市の夙川女子短期大学で教職課程の教鞭をとってられます。ご夫妻には小学校5年生の男の子と

3歳の女の子があり、都会から田舎に住まいを移すきっかけとなったのは「子育て」を考えたからだと言われています。マンション林立の都会の生活環境から離れ、子どもたちには自然環境にめぐまれた田舎でのびのびと育ってほしいと考えインターネットで丹波地方の「古民家」を探しておられました。最初に青垣方面で物件を調べ、次に訪ねたところが山南町青田の物件でした。

青田の売り物件「志茂滝荘」に着いて、はじめて出会った方が近所に住まわれる小谷美智子さんでした。小谷さんと話して、お人柄にふれるうちに「こんな方が住んでおられる地域なら安心して住めるのでは」と最初の出会いの好印象が物件購入を即決させたと言っています。

尚志さんは青田にいられて間もなく青田神楽保存会に入り毎年の行事に参加したり、消防団では6年間活動され、体育部長なども歴任され、今は公民館主事として2カ月に1回「公民館ニュース」を発行したり、人権啓発推進員としても積極的に活動されています。上久下地区に尚志さんご夫妻のように若い世代が「インターン」定着し、地域活動を通じて元気を与えてもらうことは地域の将来にとっても大変意義深いことで、上久下の大きな財産です。自然豊かな安全、安心の上久下生活をご家族で満喫されるよう願っています。

(レポーター…村上 茂)

## 自主防災訓練を実施

太田自治会

太田自治会では9月5日(日)今年度の事業の一環として自主防災訓練を実施しました。稲刈り時期にもかかわらず70数名が参加し、市役所防災担当者の指導のもと、グラウンドで体験訓練を行いました。

まず、消火器の使用法

- ①安全栓を抜く
- ②ノズルを火元に向ける
- ③レバーを握る

の使用手順、また、万が一に備え部屋の出入り口に消化器を設置することを教わりました。

続いて、煙の充満したテントの中を通る煙体験ハウスの訓練を行い、低い姿勢で部屋の隅の壁等を手探り状態で、出来れば口を手ぬぐいでおおいながら避難することを教わりました。

その後、場所を公民館に移し「防災に関するミニ講和」に耳を傾けました。内容は、丹波市で発生した台風、集中豪雨による主な被害、近年の大雨による主な被害、想定地震、ゲリラ豪雨、震度階級の解説、気象情報の解説、避難情報の用語解説、災害に備える消火器の使用法、応急担架の作り方など具体的データに基づき充実した内容の講和でした。

最後に防災等に関する意見、質問などを行い、万が一の災害に備える多くのことを学び、また地域住民の防災意識に対す

る関心の高さを感じ、意義のある自主防災訓練が実施できました。

(レポーター…中西正二)



### 10月の予定

- ◆10月3日(日) 狂犬病予防注射 地域づくりセンター 午後3時25分より
- ◆10月16日(土) 恐竜の里づくり協議会 午後7時30分より
- ◆10月29日(金) 消費者協会刃物研ぎ会 地域づくりセンター 午前9時より